

消化器内科

血便が出たら？

国吉病院

院長 国吉 宣俊 さん



血液の混じった便が出た場合を下血といいますが。その色調の違いから黒色をタール便といひ上部消化管からの出血を意味します。一方肛門から近い部位、つまり結腸から肛門までの出血では生体内の腸内細菌の分解を受けないた

め、鮮紅色の血便となります。つまり血便が見られた場合は肛門から近い部位の病変が考えられます。主な疾患としては痔核、裂肛や大腸ポリープ、早期大腸がん、進行大腸がん、直腸がん等の腫瘍病変、潰瘍性大腸炎、クローン病等の

炎症性腸疾患、虚血性腸炎・大腸憩室症からの出血、出血性大腸炎等の感染性腸炎等が挙げられます。肛門から赤い血が出てくる血便は、自分の身に起これば誰でもびつくりしてしまう消化器症状でしょう。しかし大腸の検査は肛門からの検査になりますので、恥ずかしさから検査を受けることを躊躇される方も多いかもしれません。近年日本では大腸がんが増えています。血便があった場合は二度は消化器の専門医にご相談していただくことをお勧めいたします。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科 他